

■ 株主優待のご案内



当社オリジナルアニメキャラクターQUO カード

3月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 2,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 3,000円分を進呈

9月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 500円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,500円分を進呈



ホームページアドレス： <http://www.tms-e.co.jp/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目20番1号

TEL：03-5332-8021（代表）



「爆丸 バトルブローラーズ ニューヴェストロイア」
©SEGA TOYS/SPIN MASTER/BAKUGAN 2 PROJECT・テレビ東京

第64期
株主通信

平成21年4月 1 日から
平成22年3月31日まで



私たちは、世界中のあらゆる人々に 夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、 豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より当社グループ事業へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成22年3月31日をもちまして、第64期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けさせていただきます。

何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。



代表取締役社長 **岡村 秀樹**
平成22年6月

▶▶▶CONTENTS

ご挨拶	1	財務諸表	7
業績の概況	2	会社概要	9
事業の概況	3	株式情報／株主メモ	10
トピックス	5		

業績の概況

Business Review

■ 第64期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、長引く景気停滞の中で新政権が誕生し、新しい経済政策の期待が高まり、その効果により一部景気持ち直しの兆候はあるものの、総じて設備投資および雇用情勢は低迷を続け個人消費の改善も見られず、依然として厳しい経済状況で推移しました。

このような経済環境のもとで当社グループは、アニメーション事業・アミューズメント事業を通じ、総合エンタテインメント企業として営業展開をまいりました。アニメーション事業においては、TVシリーズ・劇場映画制作、遊技機向け映像制作などに積極的に取り組み、また国内外番組販売、ビデオ化権販売、商品化権販売、インターネットおよび携帯配信、音楽出版など多岐にわたる事業展開により収益基盤の確立に努めました。アミューズメント事業においては、店舗運営強化に努め個々の店舗の採算性の確保を重要視しました。

当連結会計年度の営業成績といたしましては、連結売上高は132億9千6百万円、連結営業利益は3億2千9百万円、連結経常利益は3億9千万円となりました。

連結当期純利益につきましては、アミューズメント事業において将来に向けた一層の収益力強化のため、収益性および採算性の低い店舗の減損損失ならびに建物賃貸借契約解除にともなう特別損失を計上した影響で11億1千1百万円の純損失となりました。

■ 次期（第65期）の見通しについて

アニメーション事業を取り巻く環境は引き続き厳しく、TV向け制作、番組販売、ビデオ販売などの市場はいまだ不透明感が漂っています。こうした中、昨秋スタートしたセガサミーグループをあげての爆丸プロジェクトについて、当社は中核メンバーとして参画しており、収益の拡大を目指します。さらに遊技機向け映像の企画開発から制作・販売にいたるまでの受託体制を強化し、また著作権の許諾など、収益機会の拡大に引き続き取り組み、収益率の向上を図ります。その他新規事業への取り組みにより、将来の収益機会の拡大へとつなげていく考えです。これら事業計画のもと、次期の同事業の売上高は106億6千万円を見込んでおります。

アミューズメント事業につきましては、近年の消費低迷による経済活動の減速の影響は大きく、経営環境は依然厳しい状況にあります。大手施設業者の大規模な店舗閉鎖により施設数の需給バランスが改善するなど、前向きな見通しが一部出てきています。こうした市場環境のもと、当社グループでは不採算店舗の減損損失ならびに特別損失を第64期で計上しており、次期以降は新規店舗の出店や、既存店舗の収益性の向上に注力してまいります。同事業の売上高は31億2千万円を見込んでおります。

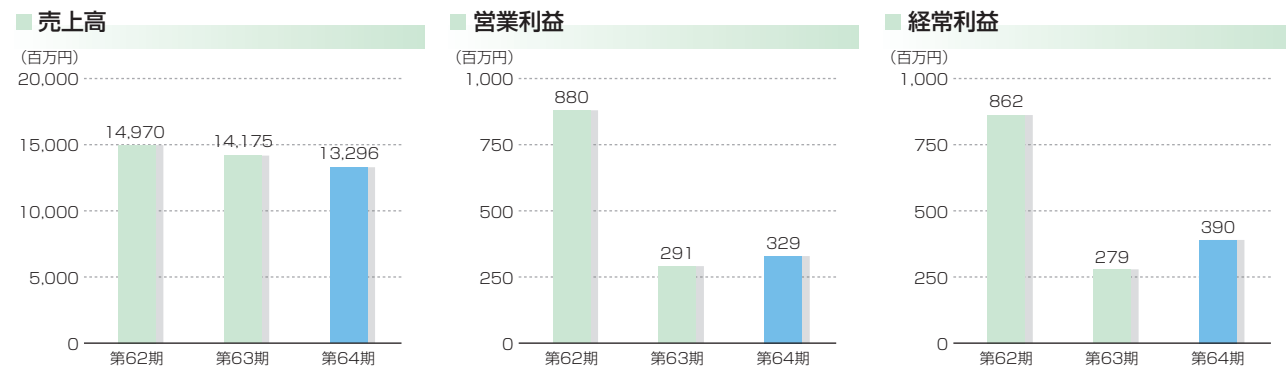
全体の売上高は137億8千万円、営業利益3億4千万円、経常利益4億1千万円、当期純利益9千万円を見込んでおります。

当社グループを取り巻く経営環境について、アニメーション業界においては、TVのアニメ放送本数は依然減少傾向にあり、ビデオの販売総数も減少傾向にあります。ただ、劇場上映の大ヒットによりビデオの販売数を伸ばした作品も見受けられ、またブルーレイディスクの販売量は増加傾向にあります。さらに家庭向けの3D対応テレビの発売が発表されるなど新たな技術やハードが登場する中、コンテンツとしてのアニメーションへの期待が高まっています。アミューズメント業界においては、景気悪化による消費マインドの低迷、およびゲーム機の大型化や相次ぐバージョンアップへの対応など施設運営にかかるコスト増により、経営環境は依然厳しい状況にあります。しかし一方で、大手施設業者の大規模な店舗閉鎖により施設数の需給バランスが改善するなど、前向きな見通しが一部出てきています。

当連結会計年度の営業成績といたしましては、売上高は132億9千6百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は3億2千9百万円（前年同期比12.9%増）、経常利益は3億9千万円（前年同期比39.5%増）となりました。

売上高の減少については、アニメーション事業において、採算性を重視してTVシリーズ・劇場映画の制作作品数を絞り込んだため制作収入が減少したこと、アミューズメント事業において不採算店舗の閉鎖を進めたことにとともに売上が減少したことなどによるものです。

営業利益、経常利益については、アニメーション事業において、劇場版「名探偵コナン」のヒットによる映画興行収入、海外市場での「爆丸」のヒットによるロイヤリティ、遊技機向けライセンス販売が好調だったことなどにより、またアミューズメント事業において個々の店舗の収益性を重視した店舗運営力の強化に努めたことにより、前期と比べて増益となりました。



アニメーション事業

制作収入につきましては、TVシリーズでは人気作品「それいけ！アンパンマン」「名探偵コナン」に加え、TVスペシャル「ルパン三世 the Last Job」を放送しました。またオリジナルビデオ「聖闘士星矢THE LOST CANVAS 冥王神話」を制作したほか、前期を上回る本数の遊技機向け映像制作をいたしました。制作収入全体の売上高は、37億8千1百万円となり、前年同期比19.6%の減収となりました。

販売収入につきましては、海外市場においては「爆丸」が北米において大ヒットを継続し、商品化権収入の増大につながりました。国内ではアンパンマン関連商品販売による収入は引き続き堅調で、また遊技機向けライセンス販売が好調に推移しています。販売収入全体の売上高は、58億3千9百万円となり、前年同期比9.1%の増収となりました。

アニメーション事業全体の売上高は96億2千1百万円と、前年同期比4.3%の減収となり、同事業の営業利益につきましては9億8千万円と、前年同期比3.8%の増益となりました。

アニメーション事業売上高・営業利益*の推移



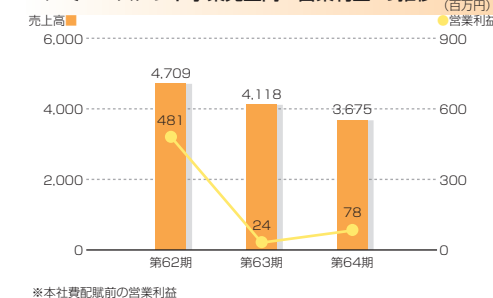
アミューズメント事業

アミューズメント事業を取り巻く経営環境は依然厳しい傾向にありますが、当社グループでは新規出店を絞り込み、収益に結びつく機器への投資を行い、催事の励行などの集客力、接客サービスの向上に努めました。当連結会計年度においては、4店舗（四日市店、習志野店、笠間店、松阪店）を閉店したことにより、平成22年3月期末現在の店舗数は21店舗となりました。

施設運営収入は、施設市場全体の落ち込みや不採算店舗閉鎖による影響を受け、アミューズメント事業全体の売上高は、36億7千5百万円と前年同期比10.7%の減収となりました。

同事業の営業利益につきましては、個々の店舗の収益性を重視し店舗運営力の強化を図る一方、コスト削減に努めた結果、7千8百万円と前連結会計年度に比べ5千4百万円の増益となりました。

アミューズメント事業売上高・営業利益*の推移





『名探偵コナン 漆黒の追跡者（チェイサー）』
© 2009 青山剛晶 / 名探偵コナン製作委員会

「名探偵コナン」4年連続日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞受賞

毎年恒例となった劇場版名探偵コナンシリーズですが、第10作、第11作、第12作に続いて、シリーズ最高となる興行成績を達成した第13作「名探偵コナン 漆黒の追跡者（チェイサー）」が、日本アカデミー賞優秀アニメーション作品賞を受賞し、4年連続受賞という快挙を達成いたしました。

さらに、この第13作は、2010年1月から中国47都市において、300館規模の劇場公開を実現しました。また、台湾や韓国、タイ、香港などでも公開されており、国内だけでなく海外でも広く支持を集めています。

また今年4月17日（土）には、第14作目となる最新作「名探偵コナン 天空の難破船（ロストシップ）」が公開され、順調に興行成績を伸ばしています。

“ポストィーズ（Posties）”の共同著作権者として営業を開始

日本郵政グループのイメージキャラクター“ポストィーズ（Posties）”について、日本郵政株式会社との間で、著作権を共同保有する契約が成立しました。これまで当社はキャラクターの認知度向上をサポートする業務を続けてまいりましたが、今後は共同著作権者として、ブランド管理ならびにライセンス営業を開始することとなりました。

“ポストィーズ（Posties）”は、ポポック（Popock）、キミック（Kimick）、ベルリック（Belrick）の3キャラクターの総称で、日本郵政グループのイメージキャラクターとして、「郵便局ありがとうフェア」キャンペーン告知、販促・奨励品の利用、商品化を展開し、さらにイベントにおけるライブキャラクター出演などを通じて親しまれています。



© JAPAN POST/TMS



『爆丸 バトルブローラーズ ニューヴェストロイア』
©SEGA TOYS/SPIN MASTER/
BAKUGAN 2 PROJECT・テレビ東京

爆丸プロジェクトの展開について

当社を含めたセガサミーグループ5社の共同出資により、2009年11月に爆丸有限責任事業組合が設立され、現在、トータルマーチャンダイジング事業として国内市場におけるブームを醸成するべく、アニメーション放映、玩具、家庭用ゲームソフト、業務用キッズカードゲーム機、DVDソフトの商品発売や、ライセンス供与による文房具、衣服、食品など、多面的な展開が図られており、当社は中核的な役割を担っています。

北米を中心に海外主要マーケットで大ヒットとなったアニメーションの第2期放送作品にあたる「爆丸バトルブローラーズ ニューヴェストロイア」の放送が国内で2010年3月から開始され、また量販店店頭でのティーチング（体験会）や販売会も開催されており、好調なスタートを切っています。

（毎週火曜日 夜7:00～ テレビ東京系列にて放送中）

「ひめチェン！おとぎちっくアイドル リルぷりっ」の放送開始について

当社グループの株式会社テレコム・アニメーションフィルムがアニメーション制作を行う、「ひめチェン！おとぎちっくアイドル リルぷりっ」が、2010年4月より放送開始されました。

「リルぷりっ」は株式会社セガと株式会社小学館の共同原作から生まれたキャラクターで、セガからはトレーディングカードゲーム方式の女兒向けアーケードゲームが、小学館からは漫画がリリースされ、多面的な展開が図られています。

テレビシリーズアニメーションでは、「おとぎの国」の危機を救うため、「白雪姫」「シンデレラ」「かぐや姫」になる力を持っている、りんご・レイラ・名月の3人が、アイドルになり歌と踊りで幸せの源、ハピネストーンを集めていくというストーリーが展開されます。

（毎週日曜日 朝9:00～ テレビ東京系列にて放送中）



『ひめチェン！おとぎちっくアイドル リルぷりっ』
©SSJ/リルぷりっくみ・テレビ東京 2010

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要旨）

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成22年3月31日現在	前連結会計年度 平成21年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	8,652	9,934
固定資産	7,401	7,930
有形固定資産	2,934	3,685
建物及び構築物	1,249	1,776
土地	797	797
その他	887	1,111
無形固定資産	279	215
投資その他の資産	4,187	4,029
資産合計	16,054	17,864
負 債 の 部		
流動負債	2,598	2,522
固定負債	643	761
負債合計	3,241	3,284
純 資 産 の 部		
株主資本	12,679	14,496
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	3,730	5,148
自己株式	△1,674	△1,275
評価・換算差額等	45	9
新株予約権	88	73
純資産合計	12,813	14,580
負債純資産合計	16,054	17,864

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結損益計算書（要旨）

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで	前連結会計年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで
売上高	13,296	14,175
売上原価	11,085	12,041
売上総利益	2,211	2,134
販売費及び一般管理費	1,881	1,842
営業利益	329	291
営業外収益	120	80
営業外費用	59	92
経常利益	390	279
特別利益	7	253
特別損失	1,163	358
税金等調整前当期純利益	△765	173
法人税、住民税及び事業税	236	41
過年度法人税等	16	－
法人税等調整額	94	64
当期純利益	△1,111	67
注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。		
■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）		
(単位:百万円)		
科 目	当連結会計年度 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで	前連結会計年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,287	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△622	△1,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△875	△795
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	782	△2,364
現金及び現金同等物の期首残高	2,557	4,921
現金及び現金同等物の期末残高	3,340	2,557

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成21年3月31日残高	8,816	1,806	5,148	△1,275	14,496	11	△1	9	73	14,580
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△306		△306					△306
当期純損失			△1,111		△1,111					△1,111
自己株式の取得				△399	△399					△399
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						35	△0	35	14	50
連結会計年度中の変動額合計	－	－	△1,418	△399	△1,817	35	△0	35	14	△1,766
平成22年3月31日残高	8,816	1,806	3,730	△1,674	12,679	46	△1	45	88	12,813

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

個別財務諸表

■ 個別貸借対照表（要旨）

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成22年3月31日現在	前事業年度 平成21年3月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	7,626	8,939
固定資産	8,906	8,042
資産合計	16,532	16,981
負 債 の 部		
流動負債	2,015	2,053
固定負債	341	304
負債合計	2,356	2,357
純 資 産 の 部		
株主資本	14,040	14,538
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	5,092	5,191
自己株式	△1,674	△1,275
評価・換算差額等	46	11
新株予約権	88	73
純資産合計	14,176	14,623
負債純資産合計	16,532	16,981

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 個別損益計算書（要旨）

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで	前事業年度 平成20年4月 1 日から 平成21年3月31日まで
売上高	9,320	11,556
売上原価	7,407	9,633
売上総利益	1,912	1,922
販売費及び一般管理費	1,646	1,699
営業利益	265	223
営業外収益	233	151
営業外費用	54	86
経常利益	444	288
特別利益	6	298
特別損失	33	49
税引前当期純利益	416	537
法人税、住民税及び事業税	191	17
過年度法人税等	16	－
法人税等調整額	1	131
当期純利益	207	388

注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社概要

商 号 株式会社 トムス・エンタテインメント

設 立 昭和21年10月

資 本 金 88億1,686万円
(名古屋証券取引所市場第二部上場)

従 業 員 数 297名（連結）

事 業 内 容 **アニメーション事業**
アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出

アミューズメント事業
アミューズメント施設の企画・開発・運営

事 業 所 **本社**
〒160-0023
東京都新宿区西新宿七丁目20番1号
住友不動産西新宿ビル28階
TEL：03-5332-8021
FAX：03-5332-8051

制作本部 制作スタジオ
〒164-0002
東京都中野区上高田五丁目39番1号
TEL：03-3319-1131
FAX：03-3319-1140

主な子会社 株式会社 AGスクエア
株式会社 テレコム・アニメーションフィルム
株式会社 トムス・フォト
株式会社 トムス・ミュージック
TMS ENTERTAINMENT USA, INC.
TMS MUSIC (UK) LTD.
TMS MUSIC (HK) LTD.

■ 取締役および監査役

取締役会長 里見 治

代表取締役社長 岡村 秀樹

専務取締役 松元 理人

常務取締役 山田 克博

取 締 役 吉田 諭司

取 締 役 鶴谷 誠

取 締 役 竹崎 忠

取 締 役 西田 浩

常勤監査役 石井 正

監 査 役 平川 壽男

監 査 役 田中 克郎

監 査 役 上瀧 雄一郎

■ ホームページのご案内



© やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV

ホームページアドレス：<http://www.tms-e.co.jp/>

当社ホームページでは、当社制作のアニメーション作品紹介の他、投資家の皆様への情報を掲載しております。是非ご覧ください。

■ 株式の状況

発行可能株式総数 121,000,000株

発行済株式の総数 44,153,101株

株主数 3,806名

■ 大株主の状況

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
セガサミーホールディングス(株)	23,549	60.22
日本テレビ放送網(株)	2,000	5.11
(株)三井住友銀行	353	0.90
柴田 渉	223	0.57
代永 衛	204	0.52
田井 謙吉	182	0.46
三津 久直	175	0.44
(株)ソノコ	150	0.38
北野 モト	143	0.36
中部証券金融(株)	139	0.35

※当社は、自己株式5,052,570株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

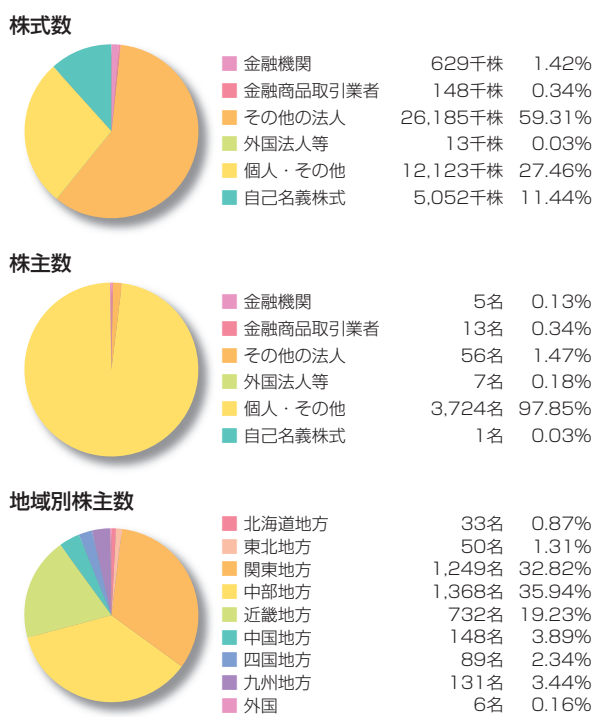
特別口座 口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel. 0120-232-7111（通話料無料）

上 場 証 券 取 引 所 名古屋証券取引所市場第二部

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.tms-e.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

■ 株式分布状況



【お知らせ】

1. ご注意

(1)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

(2)配当金の口座振込のご指定につきましては、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。

(3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。